

響の だより

〔ひびきのもりだより〕

2020.7.1
vol. 62



躍動する夏

沢遊び 頭と体、全部使って難所に挑戦
水とたわむれる 思い出の夏休み

氷ノ山フィールドノート

響の森周辺・登山道の自然情報記録よりピックアップして紹介します。



ブラシがいっぱい！

5/12 朝の通勤時に白いブラシみたいなのがいっぱい付いている木を見つけました。館周辺でたまたに見かけるウワミズザクラです。

哺乳類

- 3/21 タヌキ
- 3/25 ノウサギ
- 4/ 7 テン
- 4/11 シカ食痕
- 4/23 イノシシ掘り返し

鳥類

- 3/21 コガラ
- 3/28 ノスリ
- 4/ 3 イワツバメ
- 4/20 カケス
- 4/26 アオゲラ
- 4/30 ツツドリ
- 5/14 オオルリ
- 5/17 カッコウ
- アカショウビン

昆虫 他

- 4/ 4 ヒオドシチョウ
- 4/11 カラスジミ
- ヒキガエル卵



カブトムシ、クワガタムシの観察



写真1 ミヤマクワガタ

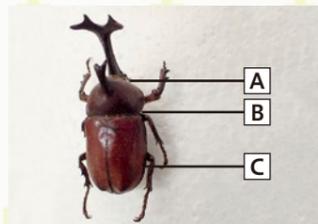


写真2 カブトムシ(背側)

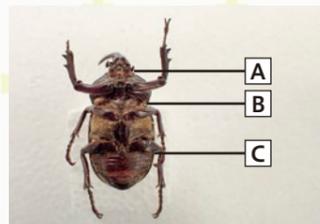


写真3 カブトムシ(腹側)



写真4 クワガタの体の構造

夏休みになると、子どもや保護者から「カブトムシはどこにいますか?」と尋ねられることがあります。ただ、残念ながら響の森周辺にカブトムシはいません。「ブナ林をはじめ、自然が豊かな氷ノ山…」と言われていたのでカブトムシもいると思われるのですが、響の森は標高845mにあり、カブトムシにとっては高すぎるのです。一般的にカブトムシがたくさんいるのは標高500mぐらいまで、それ以上では少ないと言われています。代わりに響の森周辺ではミヤマクワガタがよく見られます。ミヤマクワガタは漢字で書くと「深山鍬形」で、「深山」とは山奥という意味です。名前の通り標高の高い山間部に生息し、冷涼湿潤な環境を好むようです。「鍬形」は、戦国武将がかぶっていた兜の、前部についている威厳を添える前立物(飾り)のことで、オスの大あごがそれに似ていることから名付けられたようです。カブトムシ(兜虫)の名前の由来も「兜」にちなみ、大きな角がある頭と小さな角やくびれまでの胸の一部がヘルメット状の形をしていて、兜の形に似ていることに由来します。

ここで「おやっ、カブトムシの小さな角は胸にあるってどういうこと?」と思われる方もいるかもしれません。あらためて昆虫の体の構造について考えてみましょう。

クイズです。

1. 昆虫の体はいくつに分かれていますか?
2. 昆虫の脚は何本あるでしょうか?
3. 昆虫の脚は体のどの部分に付いているでしょうか?

答えは、

1. 3つです。頭・胸・腹という構成になっています。
2. 6本です。
3. 胸です。

次にカブトムシをもとにしたクイズです(写真2)。

4. カブトムシの胸と腹の境目は、A, B, Cのうちどれでしょうか?

答えは、Cです。

「あれっ、Bじゃないの」と思われた方もいるかもしれませんが、Bは少しくびれていて横線もあり、いかにも境目のようですが実は違います。背側より腹側から見るほうがわかりやすいでしょう(写真3)。BよりもさらにC側寄りに脚が付いています。この部分も胸になります。Cからおしり(肛門)側の、脚が付いていない部分が腹で段々腹になっていますね。ちなみにAは頭と胸の境目になります。あらためて背側から見ると、羽も胸に付いていることがわかります。実は、以前私も



写真5
ピントを少しずつずらした複数の写真を合成して、全身にピントを合わせる深度合成という機能によるアップ写真

Bが胸と腹の境目だと思っていました。「昆虫の脚は、胸に6本付いているんですよ」とBを指しながら子どもたちに教えていました…腹側から見ればわかることなのに…

今度はクワガタムシの体の構造を見てみましょう(写真4)。頭・胸・腹の境目はわかるでしょうか。頭の占める割合はカブトムシより大きく、中央に大きな胸があって、腹はやはり段々腹ですね。

カブトムシやクワガタムシはともかく、小さな昆虫の姿形や体の構造など細部をじっくりと観察するには写真撮影がおすすめです。最近はスマートフォンやデジタルカメラの機能が向上し、いろいろな設定での撮影が可能です。例えば連写機能を用いると、昆虫が動き回っていても、連写で撮影してあとから写りの良いワンカットを選ぶことができます。近寄ると逃げるおそれがある時は、少し離れてズーム機能で撮影し、後から画像を拡大すると隅々まで見ることができますし、多少近づいてもじっとしているのであれば、接写機能を用いてのアップ写真も可能です。今年の夏はスマートフォンやデジカメを片手に昆虫観察をしてみたいはいかがでしょうか。(高橋)

Special Issue

あんなこと、こんなこと



親子自然研究クラブ「巣箱かけ」 4/8



2週間ほど前から、クルーの皆さんのご協力を得て作りためた巣箱を親子自然研究クラブのメンバーを中心にかけました。記録的な暖冬だったのに春になったら一転、寒い日が続き、なんと、雪の舞うとっても寒い日となりました。今年は熊棚の森に上がるまでの作業道沿いの森にも新しい巣箱をかけ、新規入居者募集です。

臨時休館中のお仕事



新型コロナウイルスの影響で、休館を余儀なくされた春でしたが、職員は普段やりたくても手が回らなくてできなかったあれこれに取り組みました。

その中の一つが標本作り。ただ今、絶賛シカ丸ごと1頭の骨取り中です! 骨の付き方を記録したり、資料を見たりしながら、バラバラになった骨が元通り組めるように、緊張しつつ、骨取り作業をしています。秋の「シカ展」では真っ白なニホンジカの全身骨格がお披露目される、ハズ。



キアゲハの成長 5/14



昨年11月10日に採集したキアゲハの幼虫が、今年5月14日に羽化しました。

越冬したキアゲハは通常春ごろに羽化するはずなのですが、5月になっても変化が見られず…。ダメ元で日当たりの良い場所に置いてみたところ、無事に羽化しました! 芋虫から蛹、そして蝶へと変化していく様子は、実際目の当たりにしても信じがたい光景でした。生命の神秘に触れる機会をありがとう。達者でな!



響の森インタープリターのイチ押し情報

響の森外壁



響の森の外壁は、中国から輸入された石でできているそうです。花崗岩なので、顔を近づけて良〜く見ると銀色に光る白雲母片や小さな石英の結晶(水晶)が入っていてとってもきれい。アマガエルがエサ待ちをしていたり、クモが子育てをしていたり、意外とお手軽な生き物観察ポイントでもあります。入館前には、ぐるっと一周外壁チェックがオススメです。

Highly Recommended



クルー活動紹介

※クルー：響の森ボランティア

3月~5月の活動内容

- 巣箱作り・巣箱掛け (9)
- 骨格標本作り (6)
- 自然情報提供 (3)
- 木の遊び場メンテ・解体 (2)

()は延べ人数



クルーを随時募集しています!
お問い合わせ・登録はお気軽に響の森まで!

「密」を避けて

みんなで集まるイベントは実施しにくい状況でしたが、日にちをずらして巣箱作りをしてくださいました。おかげさまで、合計17個の新しい巣箱が完成! 響の森周辺の森に設置させていただきました。秋の巣箱調査が楽しみです。

Activity Report



Recommended Books 森のオススメ本

罨ガール

罨猟をする高校生の日々を描いたマンガです。農地に出没する様々な野生動物のフィールドサイン(足跡、糞などの痕跡)から動物を特定。捕獲し、とどめを刺し、解体し、有難くいただき、その魂を供養するという一連の営み、罨猟のリアルな難しさ、動物との知恵比べなど、しっかりと描かれています。今回4巻まで響の森文庫に追加しました。



【発行】株式会社KADOKAWA
【著者】緑山のひぶる

企画展『海野和男 昆虫写真展』

昆虫ほどおもしろい生き物はいない
羽ばたくチョウやジャンプするバッタなど、
写真でしか見られない躍動感あふれる
昆虫の姿をご紹介します。



7/18(土) - 8/23(日)

会場 響の森 イヌワシホール

7/18 13:00~ **スライド&トーク**
昆虫写真撮影時のコッヤエピソード
などを紹介していただきます
(定員30名、事前申込優先)

11:00~ **ギャラリートーク**
14:30~ 展示写真の撮影時の様子などを
紹介していただきます
(定員30名、事前申込優先)



海野和男氏
Unno Kazuo

1947年東京生まれ、小学生時代より昆虫と写真に興味を持ち、東京農工大学で昆虫行動学を学んだあと、フリーの昆虫写真家を標榜。主なフィールドは長野県小諸市と熱帯雨林。著作は児童向けを中心に200冊近くある。写真集「昆虫の擬態」で1994年日本写真協会賞を受賞。現在、日本自然科学写真協会会長。小中学生のための生きもの写真コンテスト「生きもの写真リトルリーグ」実行委員長。

その他、夏のイベントについてはホームページでご確認ください。
※イベントは天候や社会情勢により、内容変更または中止になる場合があります。

響の森

リクエスト受付中
詳しくは「響の森」に
お問合せください

「団体じゃないけど希望の日程で参加したい」「家族だけで楽しみたい」...など、少人数のお客様のプログラムで「2名様から受付」。ガイドは響の森インタープリター。氷ノ山のツボをしっかりと押さえているので楽しいツアーになること間違いなしです。ぜひリクエストしてください。

Information インフォメーション

プライベートプログラム
響の森
エコツアー
インタープリター
がご案内

お問い合わせ TEL (0858) 82-1620



(一財)鳥取県観光事業団

〒680-0728 鳥取県八頭郡若桜町つくよね
TEL (0858) 82-1620 FAX (0858) 82-1612
[E-mail] info@hibikinomori.gr.jp
[HP] https://www.hibikinomori.gr.jp/

開館時間/午前9時~午後5時

	4月~9月	10月・11月	12月~3月
月曜日	月・火曜日	月~水曜日	
夏休み 期間中は無休		12/29~1/3	
祝日の場合は翌日休			



入館
無料



ヘビの観察会が中止になったので、人生初の動画編集&配信をしてみました。ここに来て、一気に進むか、響の森のIT化!(岡田) こんな社会情勢だからこそ、ゆったりと楽しめる鳥取の自然のありがたみを実感しています。(高橋) 今年は海水浴もままならないようですが、身体と心の健康のために時々山や川に出かけましょう。お待ちしております!(松平)

編集後記